



那須赤十字病院



へき地医療拠点病院 モデル事業の取組

栃木県 保健福祉部 医療政策課
地域医療担当 山崎 信仁

栃木県の概要



人口 1,867,044人 (R7年12月1日現在)

面積 6,408.09km²

栃木県の概要

田舎過ぎず都会過ぎない

ちょうどいい“とちぎ”

首都圏に位置する「ニア東京」の地理的優位性などを生かし、農林業・商工業・観光業がバランスよく発展。

さまざまな企業の生産拠点や研究施設が集積する、「ものづくり県」です。

都心へのアクセスがよく、県内外の移動が楽！
さらに、自然が豊か！なうえ、生活費はおさえられる！

このメリットが揃うのは**栃木県だからこそ**です。



移住希望地全国第3位[※]の理由

※NPO法人ふるさと回帰支援センター2024年移住希望地ランキング調べ

東京から60km～160kmの位置

栃木県の概要

みんなと創る新たな
「いちご王国・栃木」
1968年から連続 生産量日本一



栃木が生んだ
ハート形のいちご



栃木県のへき地医療について

令和7(2025)年10月31日現在

- 【凡例】
- 無医地区の中心的な場所
 - 準無医地区の中心的な場所
 - ★ へき地医療支援機構の所在地
 - ☆ 地域医療支援センターの所在地
 - ◎ へき地医療拠点病院の所在地
 - へき地診療所の所在地



へき地診療所 10カ所
 (県北地域：1カ所)
 へき地医療拠点病院 8カ所
 (県北地域：2カ所)

二次保健医療圏	医科					
	無医地区			準無医地区		
	2014年	2019年	2022年	2014年	2019年	2022年
県北保健医療圏	9	9	11	5	6	4
県西保健医療圏	6	4	3	3	5	6
宇都宮保健医療圏	0	0	0	0	0	0
県東保健医療圏	3	2	2	0	0	0
県南保健医療圏	0	0	0	0	0	0
両毛保健医療圏	0	0	0	0	0	0
合計	18	15	16	8	11	10

那須赤十字病院（概要）

【開設年月日】 昭和24年 7月 1日

【開設者】 日本赤十字社 社長 清家 篤

【院長】 井上 晃男

【病床数】 450床

【診療科】 29科

【常勤医師数】 100人

【看護師、准看護師、看護助手】 574人



つながる **力** を
地域医療の強さに変える



へき地拠点病院 那須赤十字病院によるモデル事業(概要)

へき地の現状把握

現状分析 ニーズの把握

必要な診療支援の 体制づくり

へき地に必要な 支援の実施

3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

大田原市

<対象地域の人口等>
人口：1226人
高齢化率：51%
最寄り病院まで15km以上

那須町

<対象地域の人口等>
人口：1597人
高齢化率：48%
最寄り病院まで8~15km

大田原市
須佐木、須賀川、雲岩寺
川上・南方地区

那須町
大沢、寄居、沓石地区



医師→オンライン診療
看護師→必要に応じて派遣
+
見守り体制を検討
(ライフスタイルセンシング)

デモンストレーション実施

オンライン診療
移動診療車
薬薬連携

※全国へき地医療支援機構等連絡
会議にて事例発表(1/13予定)



医療確保の問題

- 少子高齢化と人口減が見込まれる
- 市・町の中心部からのアクセスが悪い
- 医療を担う人材(特に地域密着の)確保が難しい
- 医院の存続が難しい

医療体制の現状と課題

- 大田原市の最寄り医療機関：2ヶ所
デマンドバスと路線バスの併用で受診
- 那須町の最寄り医療機関：2ヶ所
3地区にバスはなし
- 今後の医療支援体制を検討するために、
地域住民へのアンケート調査を実施し、
ニーズを把握

地域に即した

きめ細かい医療の提供

- 現在の医療提供体制を維持しながら、状況に合わせた診療を検討
⇒ オンライン診療
⇒ 移動診療車の併用などを視野にいれる

質の高い医療を 安定して提供する

- 人口減少が進み、巡回診療等の患者数の一層の減少が見込まれる
- 効率的な医療提供体制の維持・確保が必要
- 訪問診療・訪問看護、薬局薬剤師、介護サービスとの連携等による地域包括ケアシステムの充実

モデル事業として全国へ横展開

へき地ニーズ調査の実施

調査概要

①配布方法

<大田原市>

- ・大田原市保健福祉部健康政策課と協議、須賀川地区区長会で説明し同意を頂く
- ・市から各区長へ調査用紙を配布し、班長から各戸へ配布

<那須町>

- ・那須町保健福祉課と協議、保健福祉課から各自治会へ依頼

②回収方法

<大田原市>

- ・各班長が回収し、須賀川地区公民館へ集約

<那須町>

- ・各自治会から、保健福祉課へ集約

③調査期間 2025年6月から7月末

④回収状況

大田原市（須賀川地区） : 回答数／世帯数 = 305件／471 = (64.8%)

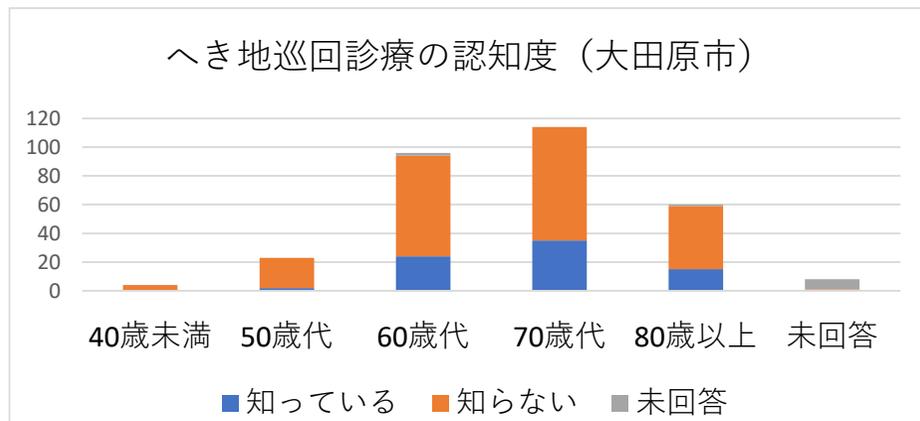
那須町（大沢・寄居・沓石地区） : 回答数／世帯数 = 263件／544 = (48.3%)

全体 : 568／1,015 = (56.0%)

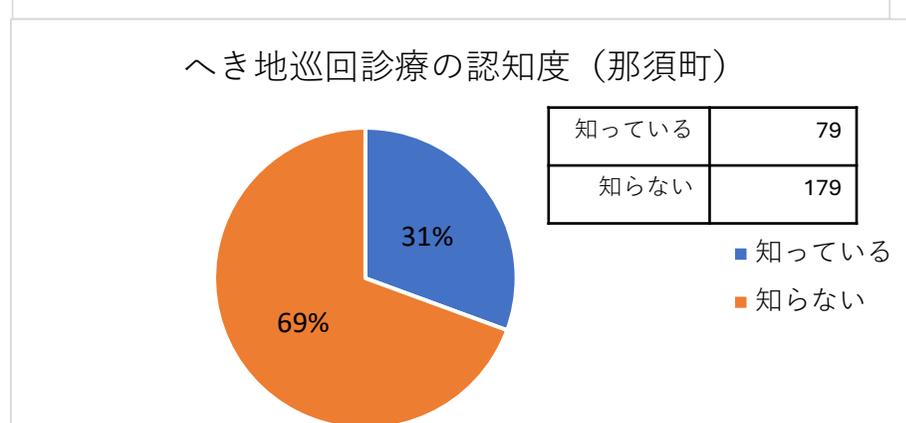
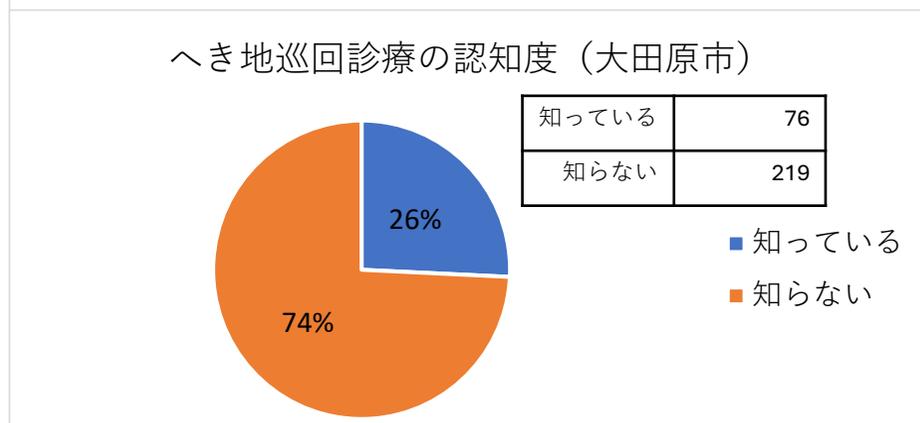
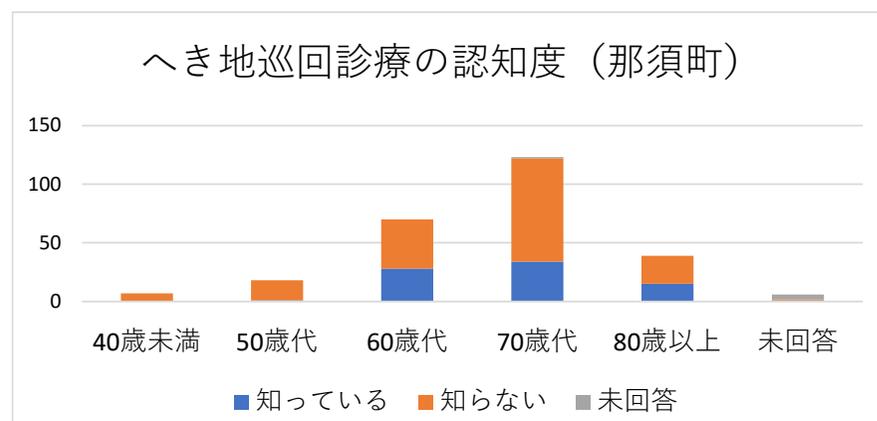
へき地ニーズ調査の結果（抜粋）

へき地巡回診療の認知度

◆大田原市（須賀川地区）



◆那須町（大沢、沓石、寄居地区）



- 大田原市、那須町ともに認知度が低い。
- 本調査の回答年代の概要確認と併せて年代毎に認知度の関係を見たところ、関係はなさそう。
- 調査内容を市町の担当課に報告した。「認知度が低いとは思っていたが、これほどとは思わなかった」とのこと。

体制づくり～ライフスタイルセンシングの取組について～



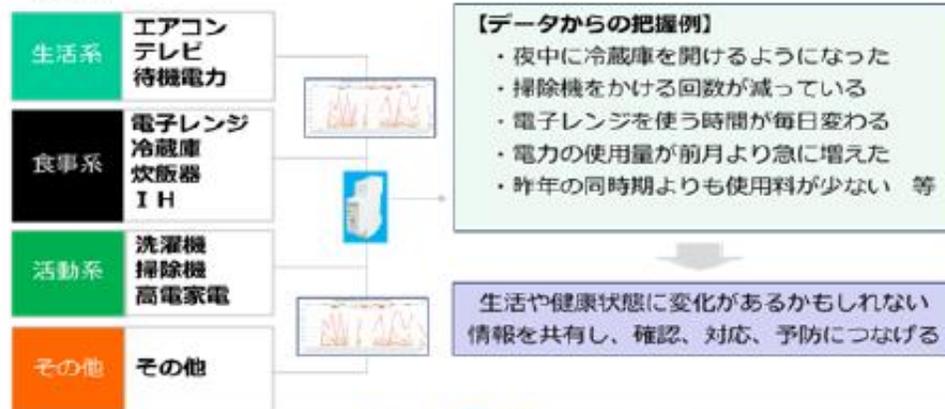
那須赤十字病院、北関東総合警備保障株式会社、MBTリンク株式会社とへき地医療を守るため連携協定を締結。

日々のライフスタイルを電力の使用量で計測できるデバイスを住宅に設置し、電力の使用状況が普段と異なる場合、北関東総合警備保障株式会社の社員の方が自宅に駆け付け病院に引き継ぎ、医療を提供するサービスを目指しております

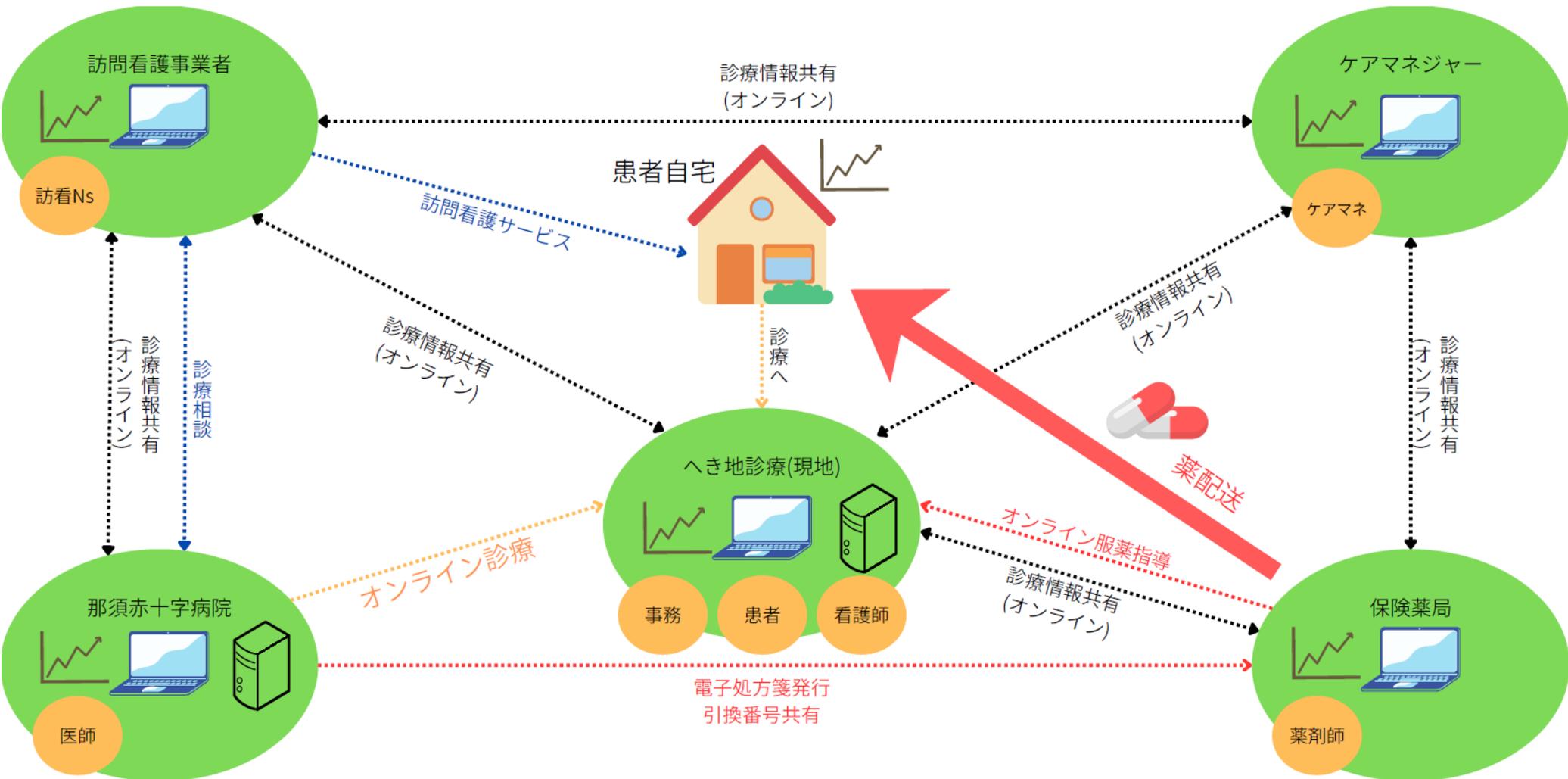
ライフスタイルセンシング

取得するデータとデータの分析

○ 電力センサからは、エアコン、電子レンジ、洗濯機など、家電別の電力使用データを取得
 家電を4つの群に分け、利用者様のライフスタイルの分析に活用
 家電の使用量、時間帯、季節変動などを分析し、生活パターンの安定度、変化、変化の予兆等を把握。



那須赤十字病院 モデル事業スキーム



那須赤十字病院 モデル事業（設備例）

現 地

病 院

webカメラ・マイク・スピーカー

オンライン診療用モニタ
（患者用）

電子カルテ(遠隔)・
オンライン診療用PC
（医療者用）

オンライン診療用PC

電子カルテ用PC

デモンストレーションの実施

1. 概要

日時：令和7年12月8日（月）10:00～11:40

場所：大田原市須賀川公民館

出席者

那須赤十字病院

院長 井上晃男

事務部長 刈生田浩一

看護師長、社会課長 井戸沼由美子 ほか
栃木県、大田原市、那須町、メディア関係者



2. 内容

- ・患者や看護師らがいる公民館と病院、保険薬局などをオンラインでつなぎ、診療や服薬指導を実施
- ・診察費用や薬代はオンラインで患者に伝え、現場で事務職員に支払う
- ・今後患者宅に電力センサーを導入し、活動状況のチェックを同時に実施



(参考) 運行予定表

令和7年度へき地巡回診療日程表

4 月				5 月				6 月				7 月				8 月				9 月			
日	曜日	地区名	備考	日	曜日	地区名	備考	日	曜日	地区名	備考	日	曜日	地区名	備考	日	曜日	地区名	備考	日	曜日	地区名	備考
1	火	沓石居		6	火	祝日		3	火	須賀川		1	火	創立記念日		5	火	沓石居		2	火	沓石居	
8	火	須賀川		13	火	沓石居		10	火	沓石居		8	火	沓石居		12	火	須賀川		9	火	須賀川	
15	火	沓石居		20	火	須賀川		17	火	須賀川		15	火	須賀川		19	火	沓石居		16	火	沓石居	
22	火	須賀川		27	火	沓石居		24	火	沓石居		22	火	沓石居		26	火	須賀川		23	火	祝日	
29	火	祝日										29	火	須賀川						30	火	沓石居	
回数 第1・四半期				回数 第1・四半期				回数 第1・四半期				回数 第2・四半期				回数 第2・四半期							
那須町				那須町				那須町				那須町				那須町							
須賀川 2				須賀川 1				須賀川 2				須賀川 2				須賀川 1							
合計				合計				合計				合計				合計							
10 月				11 月				12 月				1 月				2 月				3 月			
日	曜日	地区名	備考	日	曜日	地区名	備考	日	曜日	地区名	備考	日	曜日	地区名	備考	日	曜日	地区名	備考	日	曜日	地区名	備考
7	火	須賀川		4	火	須賀川		2	火	須賀川		6	火	沓石居		3	火	沓石居		3	火	沓石居	
14	火	沓石居		11	火	沓石居		9	火	沓石居		13	火	須賀川		10	火	須賀川		10	火	須賀川	
21	火	須賀川		18	火	須賀川		16	火	須賀川		20	火	沓石居		17	火	沓石居		17	火	沓石居	
28	火	沓石居		25	火	沓石居		23	火	沓石居		27	火	須賀川		24	火	須賀川		24	火	須賀川	
								30	火		年始休暇									31	火	沓石居	
回数				回数 第3・四半期				回数 第3・四半期				回数 第4・四半期				回数 第4・四半期							
那須町				那須町				那須町				那須町				那須町							
須賀川 2				須賀川 2				須賀川 2				須賀川 2				須賀川 2							
合計				合計				合計				合計				合計							

今後の取組について

○今年度事業について、改善点をブラッシュアップし、今後の取組につなげられるよう、関係者間で協議・調整していく。

- ・病院、診療所、薬局
- ・院内各部門

○実績報告書を取りまとめ、全国で横展開をはかる。

- ・県内市町、全国のへき地関連自治体と情報交換

○次年度以降は対象地域を拡大する予定

- ・病院のある大田原市以外も含め、対象地域を拡大

○自治体とも連携し、移動診療車の導入も検討したい

- ・必要な地域においては、地元自治体と連携し、医療MaaSの導入も検討